



特集

学校部活動から 地域のクラブ活動へ

旭ヶ丘中学校・緑ヶ丘中学校合唱部
【旭ヶ丘中学校 第1集会室】

平日は学校ごとに、休日は一緒に活動しています。地域指導者から専門的な指導も受け、地域のイベントや大会にも合同で参加しています。

学校部活動から 地域のクラブ活動へ



～すべての人が文化芸術・スポーツ活動に
親しむことができる地域をめざして～



令和4年12月、国が学校部活動の適正な運営や、新たな地域クラブ活動を整備するため必要な対応について考え方を示したことを受け、県も整備を推進するためのガイドラインを策定しました。

市でも、今年度の小学5年生が中学1年生になる令和8年度までに、すべての部活動において休日部活動を地域クラブ活動として展開していきます。これにより、生涯にわたって、文化芸術・スポーツ活動に親しむ環境の充実をめざします。

▶ 問い合わせ／生涯学習・スポーツ課 内線3731

01 なぜ地域クラブなのか

背景

市の小中学生数は、平成5年度は11,743人でしたが令和6年度は7,368人となり、約4割減少しています。学校によっては、人数が集まらず廃部する部活動もでてきています。また、約6割の部活動顧問が、経験したことのない種目を担当しており、多くの生徒にとって満足のいく指導を受けられない状況になっています。



地域クラブへの展開で期待できること

◎多様なニーズに応じた活動環境の充実

地域クラブには、他校や他学年、地域の大人も参加しています。年齢を超えた交流やつながりが生まれ、多様な価値観に触れる機会になります。自分と違う価値観に触れることは、豊かな人間性を育むことにつながります。また、通学区を超えて参加できるので、多様な選択肢から自分がやりたいことを選べます。

◎指導の専門性

地域には、専門的な知識や経験をもった方が多く、そのような方々が地域クラブの指導者になることで、専門的な指導を受けられます。

◎生涯にわたって活動できる環境

中学校卒業後も地域クラブに関わることで、文化芸術・スポーツ活動に親しむ人の循環が生まれ、持続可能な社会が実現します。

◎学校教育の充実

教員の部活動に費やす時間が減ることで、教科指導の充実や生徒との対話の時間が増えることにつながります。



02 地域へ展開するための取り組み

飯田市スポーツ協会、飯田文化協会、総合型地域スポーツクラブ、地域の団体と連携し、中学生が参加できる地域クラブの創出に向けて支援します。中学生と一緒に活動したいと思う団体、地域クラブの運営や指導を手伝っていただける方も募集し、活動の場を充実させていきます。

◎中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会

関係者が集まり、地域における中学生の多様な文化芸術・スポーツ活動の場の充実に向けて協議を進めています。

◎部活動地域移行支援コーディネーターの配置

学校、地域、行政をつなぐ専任職員を教育委員会に置き、取り組みを進めています。

◎地域指導者の確保

- 関係する皆さんと協力して専門的な知識や経験のある方を探し、指導者リストを作成します。
- 指導者のスキルアップにつながる研修会を開催します。独自の認定制度も考えます。
- 指導者ガイドラインを作成し、指導者が体罰や暴言、長時間の活動を行わないよう、中学生にとって安全・安心な活動環境をつくります。

◎「冬季ジブン・チャレンジ期間」の実施

完全下校時刻が早まる冬季（11月～1月末）の放課後部活動を行わない時期を「冬季ジブン・チャレンジ期間」と位置づけ、生徒一人一人が自分のやりたいことを考え、新しいことに挑戦できる機会をつくっています。



ギターに
挑戦



版画に挑戦

弓道に
挑戦



03

地域クラブの様子

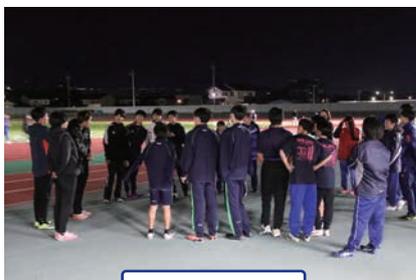
昨年度から、地域の団体や保護者が主体の地域クラブが少しずつ設立されてきています。今回は飯伊陸上競技協会が運営する「MSJAC」と、地域指導者と保護者が運営する「V.C.SUNRISE」を紹介します。

MSJAC (南信州ジュニアアスリートクラブ)

- クラブ員 / 中学生60名、小学生3名、指導者9名
- 活動施設 / 飯田市総合運動場
- 活動日時 / 水曜日 18:00~19:30、金曜日 18:00~19:30
- 会 費 / 12,000円/年
- 設 立 / 令和6年10月



保護者説明会



ミーティング



クラブで増えた友達



運営者から

- ★飯田下伊那の中学生が集まっています。学校に陸上部がなくて諦めていた生徒もクラブに参加して楽しんでいます。部活を引退した3年生の参加もあります。
- ★競技の種類、年齢に合わせた練習を心がけています。同じ練習ばかりだと飽きてしまうので、指導者同士で相談しながら楽しく練習できるように工夫しています。
- ★年会費は保険料や用具の購入にあてています。できれば指導者へ謝礼を払いたいのですが、今のところその余裕がありません。



保護者から

- ★こどもはとても楽しそうにしています。クラブには他校の生徒もいて、友達が増えたようです。大会に行っても知り合いが多いので、緊張しなくなりました。
- ★私がみんなでワイワイやる部活を経験してきたので、今の部活のように時間が制限され、人数も少ない状況はかわいそうだと思っていました。
- ★中学校の先生や飯伊陸上競技協会の方が指導者にいるので、安心して任せられます。指導者の皆さんを信頼しています。

V.C.SUNRISE

- メンバー / 中学生21名、指導者6名
- 活動施設 / 旭ヶ丘中体育館、伊賀良小体育館、山本小体育館
- 活動日時 / 月曜日 19:30~21:30、木曜日 19:30~21:30、土曜日 13:00~16:00
- 会費 / 1,000円/月
- 設立 / 令和5年12月



指導者による少人数指導



保護者も運営を手助け



当番の保護者へあいさつ



運営者から

- ★旭ヶ丘中学校女子バレー部の保護者が手助けしてくれています。1日の練習時間が長くならないように学校と相談し、学校で女子バレー部の活動がない日をクラブの活動日にしています。
- ★課題は指導者、練習場所、資金が不足していることです。特に指導者は全員ボランティアで、毎回活動に参加できないので、日によっては人数が足りない時があります。
- ★中学生の成長の速さには驚かされます。上手になっていく姿を見ると嬉しくなります。



保護者から

- ★クラブは部活と違い、専門的なコーチが指導してくれるのでありがたいです。
- ★送迎の負担は感じていませんが、こどもの寝る時間が遅くなり少し心配です。



中学生から

- ★部活よりも長時間練習できてコートも広く使えるので楽しいです。
- ★コーチは分かりやすく教えてくれます。
- ★宿題はクラブの時間までに終わらせているので、夜遅くなっても気になりません。

旧小笠原家書院築400周年記念祭 文化財を守り伝える



妹島和世さん

旧小笠原家書院で400周年の記念式典が10月26日に開催されました。併設する小笠原資料館は25周年を迎え、設計者の一人である妹島和世^{せじま}さんを招いて特別企画展の開会式が行われました。

飯田丘のまちフェスティバル サブカル・グルメの祭典



会場を盛り上げたコスプレヤーの皆さん

11月3日に開催され、県内外から約4万人が来場しました。昨年以上の出店が並んだグルメサミット、PR大使の高木美佑さんによるライブやスカッシュ体験、復活したじゃんけんラリーなどが行われました。

南信州天龍峡マルシェ 過去最多の出店



地元農家によるりんごあめワークショップ

10月27日に開催され、約9,000人が来場して賑わいました。飲食やクラフトなど142店の出店があり、りんごあめを手作りできるブースでは、親子連れが楽しむ様子もありました。

リニア駅前広場の活用を考える キックオフフォーラム



「飯田・リニア駅前広場プラットフォームキックオフフォーラム」を10月31日にエス・バードで開催し、有識者の意見も踏まえながら、約100名の参加者が意見交換をしました。関連記事は20ページ。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

南信州獅子舞フェスティバル 伝統芸能を楽しむ



大島山獅子舞保存会の演舞

10月20日に開催され、26団体が参加しました。
屋台獅子の源流といわれる高森町の大島山獅子舞保存会が初めて参加し、江戸時代後期に現在の形となった伝統の舞を披露しました。

峠の国盗り綱引き合戦 今年も信州軍の勝利



遠山郷の若者を中心に結成した信州軍

飯田市と静岡県浜松市との「国境」を決める綱引き合戦が10月27日に行われ、激闘の末、信州軍が勝利しました。通算成績は信州軍の19勝15敗となり、静岡県側に4m領地を広げています。

園児が育てた姫リンゴ おいしく食べてね



龍江保育園では、龍江小学校の農園で、農家の指導を受けながらアルプス乙女（通称：姫リンゴ）を育てています。10月31日、園児が市役所を訪れて収穫した姫リンゴを職員に配り、龍江地区をPRしました。

国民保護訓練 有事に備えて



救急隊による救命訓練

11月7日、テロ発生を想定した実働訓練を国・県・市が主催し、飯田運動公園などで行いました。訓練には、県警・消防・自衛隊など26団体から650名が参加し、関係機関との連携強化を図りました。

2024・令和6年

★★★ 今年の ★★★
主な出来事



1^{がっ}月

January

- ★信州大学が、エス・バードに水の循環やグリーン水素の研究拠点となる施設・設備の設置や研究成果を社会で活用するための先駆的なモデルとなる「実証タウン」の形成を表明

2^{がっ}月

February

- ★歴史研究所設立20周年ワークショップを開催
- ★桐林クリーンセンター跡地にバイオマス発電所の建設が決定

3^{がっ}月

March

- ★千代と南信濃を結ぶ林道千遠線が全線開通する
- ★新文化会館の基本構想がまとまる
- ★JR東海がリニア中央新幹線の開業時期延期を表明

6^{がっ}月

June

- ★龍江インター産業団地に木材チップ供給拠点の建設が決定
- ★かぐらの湯新規源泉の掘削に成功し、温泉の湧出を確認

8^{がっ}月

August

- ★ほっ湯アップル開館25周年イベントを開催

10^{がっ}月

October

- ★菱田春草生誕150年記念特別展を開催
- ★風越山トレイルマラソン大会（旧称 風越登山マラソン）が70回目を迎える
- ★市長選挙が行われ、佐藤 健さんが当選
- ★旧小笠原家書院築400周年記念式典を開催

1^{がっ}月



グリーン水素製造パネル(イメージ)

2^{がっ}月



歴史研究所設立20周年ワークショップ

3^{がっ}月



林道千遠線開通式

3^{がっ}月



新文化会館基本構想

8^{がっ}月



ほっ湯アップル25周年イベント



風越山トレイルマラソン大会(3人のゲストランナー)

10^{がっ}月

10^{がっ}月



佐藤市長2期目初登庁



旧小笠原家書院築400周年記念式典(弓術披露)

10^{がっ}月

現代版 養生訓

乳腺内分泌外科
伊藤 勅子 医師

遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の話

遺伝子とはヒトの体の『設計図』のようなもので、体をつくるための情報や体の機能を維持するための情報が含まれています。遺伝子を構成している物質をDNAと言います。

『がん』はその遺伝子の一部が『変異』することによって生じます。変異は①偶然起きる間違い②老化③タバコや紫外線などの環境因子によって起こることが知られています。

現在、日本人女性の9人に1人が乳がんに罹患すると言われています。その中で特に、乳がんの発症に強く関わる遺伝子が原因で発症した場合を『遺伝性乳がん』と言います。原因遺伝子はいくつか明らかになっていますが、その中でも最も代表的なものがBRCA1とBRCA2と呼ばれる遺伝子です。この2つの遺伝子のいずれかに『生まれつきの変異』があるために、高率に乳がんや卵巣がんを発症する病気を『遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）』と言います。乳がん全体の7~10%がHBOCに該当します。

BRCA1/2遺伝子の病的な変異は50%の確率でこどもに受け継がれます。男性にも女性にも受け継がれます。最近では、この遺伝子の変異は、^{すいぞう}膵臓がんや前立腺がんにも関係していると言われます。しかし、変異を受け継いだからと言って必ず病気になるわけではありません。変異があることがわかれば、定期的な検診や予防的手術など、発症する前にさまざまな対策を取ることができるようになってきました。

BRCA1/2遺伝学的検査は採血で行います。保険の適用を受けられる人とそうでない人がいます。未発症の人は、保険適用で検査はできませんので、遺伝カウンセリングを通して対応を検討します。詳細は外来担当医にお尋ねください。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.44

初心にかえって

市長室から

市長
佐藤
健

10月に行われた市長選挙で御支持を賜り、引き続き市政を担うこととなりました。どうぞよろしく願いいたします。

さて、4年前に市長になりたての自分がどんな『市長室から』を書いたのかと思い、当時の原稿を探してみると、なんと「未来を見据えながらも、一步一步着実に歩いていきたい」と書いているではありませんか！今回の市長選挙に臨むに当たってキャッチフレーズにした「一步一步、着実に」を市長就任当初から使っていたとは、自分でも無意識でした。

選挙結果だけ見れば、これまでの市政（姿勢）に対し多くの御支持を頂いた形ですが、市民の皆さんが現状をもって良しとし

ているかと言えば、決してそういうわけではないと受け止めています。私以外の候補に投票した方が9千人以上いるわけですし、有権者の半数近くが投票に行かなかったわけですから。そして、私に投票した方だって、百点をくれたわけではないでしょうから。

これまで以上に「現場」に出向いて「対話」を重ね、市民の皆さんの声が届く「心かよう市政」となるよう努力してまいります。

そして、皆さんの願いを一つ一つ形にし、困りごとを一つ一つ解決していくことで、「日本一住みたいまち」に一步一步、着実に近づけていきたいと思っております。

今年も残すところあとわずか。どうぞお体には気を付けて。